

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年3月25日

学校法人もっこく学園

認定こども園 さつきが丘幼稚園

1. 本園の教育目標

『子ども・保護者・教師ともに学びあえる楽しい幼稚園』

個々の特性をいかし、心身ともに健やかで調和のとれた感性豊かな子どもの育成。

- ・丈夫なからだ、元気でよく遊ぶ子。　・自分で考え、あきらめずにやろうとする子。
- ・よく聞き、よく見て、よく感じる子。　・思いやりと、感謝の気持ちがもてる子。
- ・みんなと力を合わせてする喜びがわかる子。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

見通しをもったクラス運営。個々の幼児に必要な援助を探り、教育内容および指導の工夫や質の向上に努める。

新型コロナウイルス感染予防策を講じながら、発達に応じた育ちの支援をしていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	達成及び取り組み状況
○教育・保育の計画性 教育課程・教育方針 教育目標・指導計画 環境構成	<ul style="list-style-type: none">・幼児の姿と照らし合わせながら、教育計画や教育活動を検討した。・個人記録をとることを心がけ、指導の参考にした。・園児が過ごしやすい環境構成を心がけ、その都度検討し整備していった。
○教育・保育のあり方 幼児理解・指導 安全・健康	<ul style="list-style-type: none">・幼児の育ちを理解しながら、適切な援助ができるように務めた。・新型コロナウイルス対応を日々怠らず、安全、健康に過ごせるようにした。点検・確認作業をしっかりと行った。特に園児数の点呼を慎重に行った。・積極的に研修に参加し、専門性を高める努力をした。
○教師としてのあり方 組織・役割 資質・適正 連携	<ul style="list-style-type: none">・経験の差を互いに認め合い、連携して活動に取り組む姿勢をもつことに努めた。・組織としての基本を振り返り、それぞれの役割を再確認して行った。報告・連絡・相談を心がけた。・補助担当者との連携を注意していった。
○保護者への対応 情報発信・対応 苦情相談	<ul style="list-style-type: none">・感染対策をして出来る範囲内での保育参観や、個人面談を行った。・必要な事柄は正しく伝えていくようにしていった。確認や検証をしっかり行うようにした。・相談事案については、担当者を交えてこまめに対応していった。
○地域との関わり 自然・社会 子育て支援・開放 幼小連携	<ul style="list-style-type: none">・地域の人々からの声がけや会話を快く受け入れる姿勢や態度があった。・園庭開放や子育て支援が復活でき、期待を持って来園していただいた。・小学校との連携を積極的に行えるように連絡を取り合い、交流活動に繋げていった。
○研修・研究 意欲・態度 専問性	<ul style="list-style-type: none">・園内研修では事例研究を重ねた。・常に新しい情報等に耳を傾けていくようにした。また、報告書の作成をして共通の課題として提案していった。

4. 総合的な評価結果

学年毎の課題に向けて適切な計画は評価できた。指導の内容に反省部分も見られ、個別対応の児童に対する課題が残った。
クラス運営上担任の負担軽減や指導内容の工夫が必要であり、チーム保育についてよく検討していきたい。
コロナ禍で制限がある中、可能な範囲で児童の発達に応じた育ちの支援を行った。安全・健康対応に時間を要した。
小学校との連携がより活発になるように、連絡を取り合い実現出来たことは良かった。今後も連携をとって交流していきたい。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	児童の主体的な活動（自信を持った表現活動）	感じたことを自分なりに自信を持って、伸び伸びと表現したり、主体的に遊びや活動ができる指導や環境構成を構築する。
2	異年齢交流	フリーウィークや異年齢交流の機会をきっかけに、園生活の中で充実した活動に繋げていく。
3	特別支援教育のための園内支援体制の整備	家庭や専門機関との連携を図り、個別の指導計画を作成していく。支援の必要な児童に対するカンファレンスを行い、専門性を高めていく。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- 保護者アンケートによる評価は、どの項目についてもA評価が80%台であり、概ね園の方針や教育内容に理解を得ている結果を確認。
- コロナ禍により行事等内容を工夫して行い、状況に応じた対応であった。地域とのかかわりについては、園庭開放や未就園児対象の子育て支援活動は予定通り実施出来て良かった。
- 保護者が来園する機会が少なく園での子どもの様子がわかりにくかったので、写真や動画サイトでの発信がもつとあると良い。
- 園児対応は補助の先生方が個々の特性に応じた対応をしており安心できる。園バスの置き去り防止装置を早急に設置したことは評価できる。事故防止のために職員同士の連携や共通理解などは重要であり、今後も安全対策を十分図ってほしい。

特記事項【学校評価保護者アンケートより】

- 行事（遠足等）コロナ前のように実施できて良かった。
- 給食がシンプルで幼稚園児らしい味付け、メニューの方が偏食の子どもには挑戦しやすいと感じる。
- 写真屋さんの写真の撮り方が下手。ニコニコした写真が少なく残念。
- 言葉づかいやしぐさ（乱暴気味）など、友達の影響なのかなと思う言動があり気になった。
- 3年間で成長を感じられ感謝している。幼稚園での様子が分からぬ時期があった。
- 作品展は私服登園にしてほしい。
- 幼稚園での出来事を楽しそうに聞かせてくれる。
- 担任はもちろん園全体の先生で子ども達のことを見てもらいありがたい。
- 登園できない日が続いたが、寄り添ってささえてもらひ感謝します。
- まだ小さいのでマスクが少し苦しそうに感じる。外して良いタイミングになつたら選択できればと思う。
- 先生が普段の様子を楽しそうに話してくれるので、安心して預けることができた。
- わかりやすいように話して配慮してくれ、子どもが楽しく園生活を送っている。

令和4年2月

令和4年度 認定こども園 さつきが丘幼稚園・学校評価

保護者アンケート結果

園児数 76名 / 回答数 64名

A = そう思う B = ややそう思う C = あまり思わない D = 思わない

	評価項目		A	B	C	D
園経営	1 教育方針や教育目標、教育活動に関する情報提供がなされていたか。	53	9	1	0	
	2 行事や活動において、保護者にその行事や活動のねらいなどを理解されるよう伝えていたか。	50	11	2	0	
	3 子どもを主体とした教育の継続に努めたか。	46	14	3	0	
	4 保護者・地域への園施設の開放を行っていたか。	55	7	1	2	
	5 安全における危機管理をしていたか。	53	8	2	0	
保育のありかた・指導	1 保育を参観する機会や教師と話をする場を適切に設けていたか。	46	15	2	0	
	2 教師は家庭と連携し、集団生活のルールや基本的生活習慣の指導を適切に行っていたか。	50	11	2	0	
	3 教師は思いやりや善惡の判断など、道徳性を育む指導を適切に行っていたか。	47	16	0	0	
	4 教師はひとりひとりの園児を理解し、個々の特性を尊重し伸ばす指導をしていたか。	47	13	3	0	
	5 教師は園児とよく遊び、笑顔でどの子も公平に接していたか。	50	12	1	0	
	6 教師は子どもや保護者に対して、適切な言葉づかいや対応をしていたか。また、子どものことについて相談に応じてくれたか。	56	5	2	0	
特色	元気な子	1 積極的に戸外遊びや運動遊びに取り組んでいたか。	58	5	0	1
		2 挨拶や日常の生活習慣をしっかり身につけ、安定した園生活が送れるような環境づくりをしていたか。	56	7	0	0
		3 保育参観や行事等で、保護者に幼児の成長がわかるように取り組んでいたか。	50	13	1	0
		4 健康で安全な園生活が送れるように、安全指導、保健指導に取り組んでいたか。	49	13	0	0
ある教育活動	感じる子	1 自然や動植物との触れ合いをしながら、好奇心をいだいたりして、かかわる環境をつくっていたか。	57	6	2	0
		2 感じたことや、思ったことを素直に言葉や身体で表現できるよう取り組んでいたか。	46	15	1	0
		3 子どもの想像力や発想、個々の良さを認め、より發揮できるような機会や環境づくりをしていたか。	51	11	1	0
たのしいなかま		1 学級・学年の友達の中で、自分を肯定しながら、友達と安心してかかわり生活できるような環境づくりをしたか。	51	11	1	0
		2 異年齢の友達と親しみをもって、過ごしたりかかわる取り組みをしていたか。	54	8	1	0
		3 互いを尊重し、思いやりや感謝の気持ちの育ちを学べる機会を作ってきたか。	45	16	1	1
子どものすがた	家庭での様子	1 食事・着替え・排泄など、良い習慣が身についてきたか。	48	13	2	0
		2 喜んで登園し、挨拶やマナー・ルールを理解し行ったり守ろうとしたか。	46	15	2	0
		3 我慢することや思いやりの心、物を大切にする態度が育ったか。	35	22	4	1
		4 自分のことは自分でできるようになり、考えや思いを自分の言葉で伝えることができたか。	39	23	1	0